山口大学医学部附属病院

精神科神経科

【診療科(部)の特色】

当科は山口県内唯一の開放病棟と閉鎖病棟の精神科病床を有する総合病院にあります。そのため、児童思春期から老年期までの難治例、診断困難例や身体合併症例（摂食障害や身体疾患に起因する精神症状、精神疾患合併妊娠など）が多く紹介され、幅広い精神疾患の診療を行っています。

【研修目標】

外来初診の予診や本診の陪席を通して精神疾患の知識を幅広く習得し、リエゾンではせん妄、抑うつ、不眠、不安に対する対応法を学びます。また、医師臨床研修の到達目標となっている統合失調症、うつ病、認知症の入院症例や他院での依存症研修をとおして、精神疾患やその治療経過を経験します。

【研修週間スケジュール例】

毎日、①外来初診、②リエゾン、③入院病棟の対応（処置、検査の困難な患者の付き添い、病棟患者の救急対応など）のいずれかに入ります。その他、以下の週間スケジュールに沿って、指導医とともに研修しています。

曜日	ニューロモデュレーション	カンファレンス
月	ECT、rTMS 療法	全体カンファレンス
火	ECT、rTMS 療法	ミニカンファレンス リエゾンカンファレンス
水	rTMS 療法	ミニカンファレンス
木	ECT、rTMS 療法	ミニカンファレンス
金	ECT、rTMS 療法	教授回診

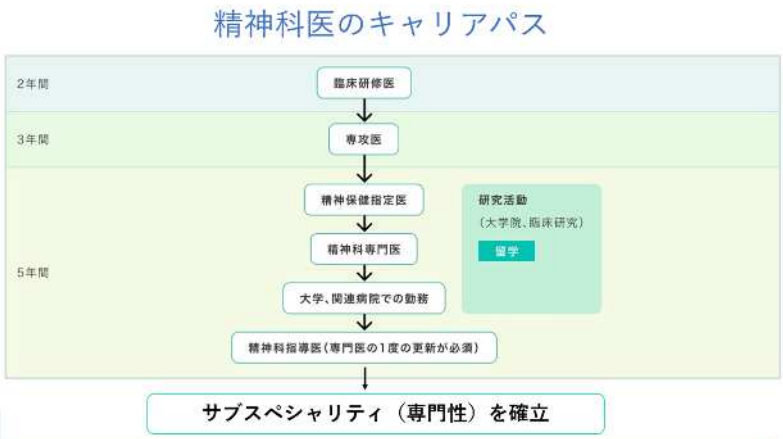
注）rTMS：反復経頭蓋磁気刺激（うつ病に対する治療法)、ECT：電気けいれん療法
ミニカンファレンス：指導医、上級医、専攻医の計 5〜6 名からなる臨床チームが 3 つあります。

【キャリアパス】

初期研修後は、当科の専門研修プログラムを通じて、精神科専門医および精神保健指定医の取得を目指します。

・精神科専門医：精神科診療に必要な知識と臨床経験を備えた医師として認定される資格です。
・精神保健指定医：精神保健福祉法に基づく入院診療や行動制限の判断に関わる資格です。
・症例経験：大学病院と関連病院での研修により、統合失調症、気分障害、認知症、児童思春期、身体合併症、摂食障害、リエゾン精神医学などを幅広く経験できます。

・指導体制：専門医・精神保健指定医の取得に必要な症例経験、症例レポート作成、面接・口頭試問対策について、指導医および上級医が継続して支援します。
・取得後の進路：大学病院、総合病院精神科、精神科病院、地域医療機関、大学院進学、臨床研究など、進路を選択できます。



【指導医からのコメント】

精神科での経験は、臨床研修終了後にいかなる診療科に進んだとしても、今後の臨床に役立つと考えます。人は病をえると少なからず精神的ストレスを感じるでしょう。精神的ストレスが人に大きな影響を及ぼしうることを知り、そのことを念頭に置きながら患者さんと接すると患者さんの変化に気づきやすいでしょうし、患者さんも主治医の慮りを感じて安心して治療に臨めるでしょう。患者さんの精神的な問題で困った時に精神科での経験と我々の顔を思い出して頂けると良いなと思っています。

【先輩（若手医師）からのコメント】

精神科は少し特殊な診療科と思われがちですが、精神症状だけでなく器質的要因との相関や心理社会的な要素も評価しバランスよく介入していくような、実は総合的な力が養われます。どんな方でどんな人生を過ごしてきたのだろうか、と興味を持って患者さんに接するところから、精神科の診療はスタートします。同じ診断名でも患者さんそれぞれの背景によって治療アプローチは多様で、精神科の難しくもあり、奥深く面白いところだと感じます。

近年では発達症を初めとした精神科領域の一般への普及も相まって、幅広い年代で精神科の需要が高まっています。当科の優しくあたたかく個性的な先生の指導のもと、ぜひ皆さん一緒に学んでいきましょう！

【お問い合わせ先】

山口大学医学部附属病院　精神科神経科
樋口　文宏（医局長）
TEL：0836-22-2255
E-mail：seisin@yamaguchi-u.ac.jp
Website：https://www.mental-yamaguchi-u.jp/